

# 滞納が9517万円に

08年度末 県教委、督促進める

## 県会審議から

経済的理由で修学困難な高校生に貸し付けている奨学金の滞納者が819人、滞納額が約9517万円（2008年度末現在）に上ることが21日、県会決算特別委で明らかになった。

02年度に始まった高校奨学金貸与制度で、県教委によると、無利子で月額1万8千〜3万5千円を貸し付けている。07年度からは、社団法人県高等学校教育振興会に業務を移管。08年度までに5191人が利用し、貸与総額は約39億3700万円になっている。

08年度末の返還対象者は、大学進学などの猶予者を除く4179人だが、約19%にあたる819人が滞納。返還予定額に対する未返還率は31.4%に上った。

県教委は学校と連携し、文書や電話で督促。高見忠之・高校教育課長は「金融機関での融資回収の経験者を返還事務専門員として任用し、家庭訪問などを行っている」と説明。08年度末から9月末までに約276万円を回収したという。

08年度末の返還対象者切な財務諸表を作るよう指導する」と謝罪した。竹内英明議員（民主党）

08年度末時点

# 高校生奨学金滞納9500万円

08年度末時点 09.10.22 県教委 文書で督促や専門職員回収

高校生を対象にした県の奨学金制度について、2008年度末時点の滞納額は約9500万円、未納率は31.4%に上ることが21日、わかった。県教委は、滞納者への細かな指導で、回収に努めたいとしている。

末時点の返還対象者は4179人で、819人が滞納した。対策として、文書による督促のほか、金融機関での勤務経験がある専門職員が、回収にあたっているという。

一方、同事業を県から一任されている「県高等学校教育振興会」が、08年度までの2年間に、県が補助金として支出した約20億円に

ついて、同会の決算書類からの記載漏れも判明。奨学金の原資になるため、県教委は「補助金の適切な管理を、振興会側へ早急に指導していきたい」としている。

・県民連合の質問に答えた。（中島摩子）  
全国学力テスト  
市町・学校別の結果公表せず  
県教委  
全国学力テストの市

町村別・学校別の結果について、鳥取地裁が今月2日、全国で初めて結果開示を認める判決を出したが、兵庫県教委は21日の県会決算特別委で、「結果は公表しない」と方針をあらためて示した。

開敏之・義務教育課長は「全国学力テストの調査主体は国であり、市町は参加主体。県教委は各市町の結果を公表しないことになっており、市町もそれを前提にテストに参加している。県が独自に公表するのは、引き続き差し控えるべき」と述べた。

上田良介議員（民主党）の質問に答えた。（中島摩子）

結果について、県独自の公表はしないことを改めて強調した。学力テストの非公開を巡っては、鳥取地裁が2日、「結果の開示によって過度な競争や序列化などの弊害を生じる恐れがある」とは言えない」として、鳥取県教委に開示を命じる判決を出している。

県議会決算特別委で、質問があり、県教委義務教育課の開敏之課長は「国の実施要領では、県教委は市町、学校名を明らかにしないとされており、県独自の公表は控えるべき」と述べた。